

校長室から 17 (season 2) 「人と人との関わりを大切にする」

～ 横浜国立大学との連携事業（教職基礎・教職基礎演習の取組み）～

本校は平成 19 年に策定された「中・高・大連携によるこれからの教育実践モデルの構築実施計画」に基づき、附属横浜中学校、横浜国立大学教育学部との連携を行っています。特に近年は大学との連携事業の充実を目指して、様々な取組を実施しています。

その連携事業の一つとして、10 月 20 日に大学生徒とのワークショップが行われ、本校で教育実習を行った大学生 3 年生 14 名と本校の 1, 2 年生 78 名が参加しました。

内容は、参加者が 14 のグループに分かれ、初めに大学生が高校生に対して、大学での学びの様子を語り、その後、各グループで「2030 年（7 年後）の学校をデザインしよう！」というテーマで協議を行いました。



社会が変化する中で「学校に変わってほしいこと」「変わらないでほしいこと」を中心に、今後の学校について議論をしました。

一例ですが、変わってほしいこととしては、ただ一方的に教える授業、変わってほしくないことは、(A I 等が発達しても) 授業は人がしてほしい、などの意見が交わされました。この時の様子を TVK が取材をしており、11 月 24 日の「TVK NEWS ハーパー」Way to go! のコーナーで紹介されました。本校の HP に YouTube のリンクを張っておりますので是非ご覧ください。

これに先立ち、11 月 13 日には横浜国立大学教育学部から 4 人の先生が来校し、本校希望



者 78 名へのガイダンスが行われました。大学での学びや入試概要等の丁寧な説明がなされ、また、オンライン (ZOOM) による学部生からの生の声が届きました。

「高校と大学との学びの違い」
「総合型選抜で留意したこと」など、本校生徒と大学生（今春に本校を卒業）と質疑応答をしている姿を見て、大学生としてしっかりと成長していることを誇らしく思



を深め進路決定の促進と進学意欲を高めることをねらいとしています。

いました。

今後の横浜国立大学との連携事業としては、12月5日の午後に、本校第2学年全員が横浜国立大学キャンパスに行き、8講座に分かれての体験授業を受けます。高校2年生の段階で各自が志望する学部に関連する大学の授業を受けることで、大学での学究環境の理解

冒頭に紹介しました大学生とのワークショップにおいて様々な意見が出る中で、学校教育に必要なこととして、「人と人とのつながり」が大切、とするグループがありました。

本校で開講している「教職基礎」・「教職基礎演習」は教職を目指す生徒対象の授業ですが、その中で学ぶことは、コミュニケーション



の豊かさや人と人との交流の温かみ、対話の重要性など、現代社会に生きる私たちにとって「人と人とのつながり」の意味を再確認できる貴重な時間となっていると思われます。

令和5年11月29日